学校番号	314

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の地理総合」（帝国書院）、「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年間の学習の流れは次のとおりです。
＜地球・世界に関すること＞
①地球儀を地図化する際のさまざまな図法を学ぶ。
その後、国々の結びつき方（経済的なつながりを含む）について、地図を通して説明できるようにする。
②地形・気候・言語・宗教等の地理的な見方・考え方を学ぶ。
同時に、世界の生活文化について、地理的な見方・考え方を用いて説明できるようにする。
③地球的課題が生じている場所やその要因等について、地理的な見方・考え方を用いて説明できるようにする。

＜日本に関すること＞
④地形図を読図するために必要な地理的な見方や考え方を学ぶ。
その後、自然災害が生じる場所やその要因等について、地形図を通して説明できるようにする。
⑤仮説の立て方、調査結果の検証方法等を学ぶ。
その後、生活圏を含めた各地域における防災・減災の取組みについて、地理的な見方・考え方を用いて説明できるようにする。

2　学習の到達目標

１年間を通して到達すべき目標は次のとおりです。

①地球儀やさまざまな図法の地図の読図、GIS の役割や有用性等について理解しているか。
②地図を通して国々の結びつき方等を理解し、読図の技能を身につけているか。
③世界の多様な生活文化について、その背景や相互関係を見いだすための地理的な見方や考え方を身につけているか。
④地球的課題が生じている場所やその要因等について理解しているか。
⑤自然災害が生じる場所やその要因等について理解するとともに、各地域における防災・減災の取組みを見いだすための地理的な見方や考え方を身につけているか。
⑥仮説の立て方、調査結果の検証方法等を理解しているか。
⑦横断的・総合的な学習や問題演習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につけているか。

なお、日々の授業においては、その日に到達すべき目標を明示する予定です。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図や地理情報システムと現代世界	・地球儀と地図 ・地図と地理情報システム	a. 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 b. 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

	結びつき深める現代世界	・現代世界の国家と領域、日本の領土 ・地図からみる国内や国家間の結びつき	a. 世界を構成する国家の領域の定め方、日本の領土、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。 b. 国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート
2	生活文化の多様性と国際理解	・生活文化の多様性 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 ・世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活 ・生活文化の多様性と地理的環境	a. 世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b. 地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

	地球的課題と国際協力	・複雑に絡み合う地球的課題 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・感染症・衛生問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題	a. 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b. 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 持続可能な開発を実現するために必要な取組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート
3	自然環境と防災	・自然災害と暮らし ・日本の自然環境 ・地震・津波や火山活動による災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	a. 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b. どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期考査 プリント 課題研究	定期考査 プリント 課題研究	プリント 振り返りシート

	生活圏の調査と地域の展望	・生活圏の調査と地域の展望	a. 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 b. 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期考査 プリント 課題研究	定期考査 プリント 課題研究	プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度